

About MEC COMPANY



基礎情報

会社名
メック株式会社
MEC COMPANY LTD.

社是
仕事を楽しむ



本社所在地
〒660-0822
兵庫県尼崎市杭瀬南新町3丁目4番1号

研究開発費
1,323百万円
連結売上高の約10%を投資

上場市場
東京証券取引所プライム市場
(証券コード:4971)

設立
1969年5月1日
大阪市北区で創業
電子基板製造用薬品の
開発・販売を開始しました。
→ <https://www.mec-co.com/about/profile/>
メック50年の沿革
→ <https://www.mec-co.com/50th/>

事業拠点
日本
4拠点 ●尼崎事業所 ●東初島研究所
●長岡工場 ●東京営業所
海外
4か国 ●メック台湾 ●メック中国(蘇州)
●メック香港 ●メックタイ
●メック珠海 ●メックヨーロッパ
[ベルギー]
→ <https://www.mec-co.com/about/location/>

主な事業内容
電子基板・部品製造用薬品の開発、
製造販売および機械装置、
各種資材の販売
→ <https://www.mec-co.com/product/>

従業員数
413名
(連結) | **237**名
(単体)

ISO認証取得状況
各拠点で **ISO9001** (品質)
ISO14001 (環境) 取得済み
→ <https://www.mec-co.com/about/iso/>

自己資本比率
82.7%



各種方針

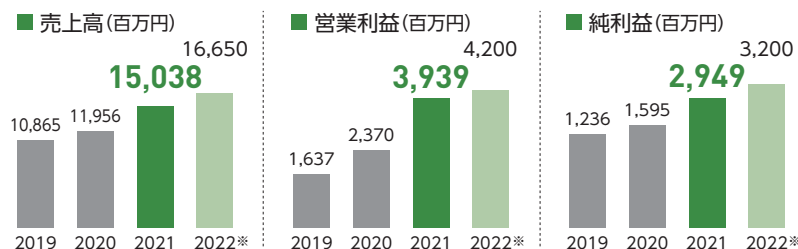
- CSR基本方針 → <https://www.mec-co.com/csr/csr-policy/>
- 品質方針 → <https://www.mec-co.com/about/quality/>
- 環境方針 → <https://www.mec-co.com/csr/env-policy/>



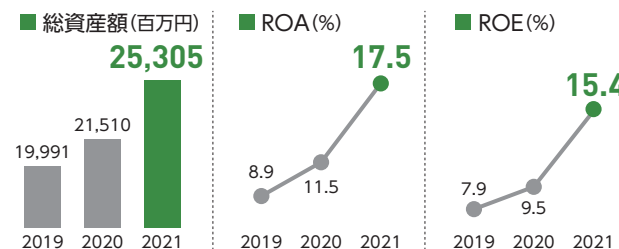
連結財務データ

売上高/営業利益/純利益

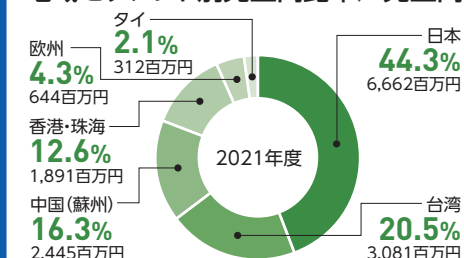
※業績予想(2022年5月10日公表)



総資産額/ROA/ROE



地域セグメント別売上高比率/売上高



2030年 ビジョン

メックの2030年ビジョン



独創の技術で新たな価値を創造し、
お客様とともに**持続可能な社会の実現**に挑戦する

→ https://www.mec-co.com/ir/library/pdf/tekijikaiji/20220214_5304_tekijikaiji_2.pdf

目指す企業像



- 独創の技術で新たな価値を創造する
真のグローバルカンパニーになる
- 研究開発型企業であり続ける
- 独創のAI企業としての顔をもつ

Phase1中期経営計画(2022-2024) 今中計の数値目標

2024年数値目標(連結)

営業利益率 **20%以上** | ROE **10%以上**



仕事を楽しむ + 社会に貢献する

社は「仕事を楽しむ」

私たちの願いは、それぞれの人生で

大切な時間をかける仕事を、精一杯楽しむこと。

どのような仕事でも、自分たちのこととして真剣に取り組み、
その成果が人々の豊かな暮らしに役立つようであれば、
それはとても幸せなことです。

楽しい社会は、仕事を楽しむ人たちの手で実現していきます。

私たちは、持続可能な社会の実現を担う

一員であることを自覚し、

自らの心豊かで幸ある人生と、

明るく楽しい社会への貢献を、

同時に追い求めています。

未来を切り拓く研究開発

適正な調達、
生産、物流

環境保全

品質と安全

多様な人財の活用

経営基盤の強化

MECの6つのマテリアリティ
(重要課題)

サステナビリティ報告書 2022

CONTENTS

→ About MEC COMPANY	01
→ MEC Style	02
→ 私たちの事業内容について	03
→ 2021年度の事業活動の総括と 2022年度の展望	04
→ トップメッセージ	05
→ メックの価値創造モデル	08
→ マテリアリティ策定と重点テーマ	09
→ 6つのマテリアリティ(重要課題) および関連するSDGsアクション	09
→ Environment 環境保全に関する報告	11
→ Social 社会性に関する報告	14
→ Governance コーポレートガバナンスと コンプライアンスに関する報告	20
→ 社外取締役役メッセージ	22
→ SASB INDEX	23

2006年に環境報告書を発行して以来、当社の環境保全活動全般に関する情報を、
ステークホルダーの皆さまに報告するよう努めてまいりました。
2021年版では当社のCSRに関する活動情報を、ESG(環境・社会・ガバナンス)の
視点で分類し、CSR報告書として発行致しました。
本報告書では、さらに歩を進め、持続可能な社会の実現と当社の成長戦略との一体化
について報告する、サステナビリティ報告書として発行することと致しました。

■ 参考としたガイドライン

- RBA行動規範Ver7.0
- ISO26000: 2012
- 環境報告ガイドライン2018
- 環境会計ガイドライン2005
- SASB(Chemicals_Standard_2018)

■ 報告期間

対象期間: 2021年1月1日から12月31日(一部2022年1月以降の活動内容を含みます。)

■ 本報告書の対象範囲

国内の事業所(尼崎事業所、東初島研究所、西宮工場、長岡工場、東京営業所)の情報を
対象としています。一部海外関係会社の情報を含みます。